

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	排水管等維持補修事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	河川課				
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備	主管課長	池田 輝昭				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	雨水排水施設	意図	雨水排水施設の機能維持と安全確保を図る。
事業内容	老朽化した雨水人孔蓋の交換及び排水施設の補修を行うものである。また、緊急的な事故等に備え、原材料を購入し備蓄するものである。			
事業開始から現在までの状況変化	耐用年数を配慮する施設が増え、老朽化が進んでいる。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	苦情件数	9	7	8	件	↓↓↓
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）  
 舗装補修工事に併せ、老朽化した人孔蓋を交換することで、経費削減を行っている。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	4,082,210	2,749,400	5,715,560
事業費(b)(円)	3,738,960	2,413,800	5,385,960
うち一般財源	3,738,960	2,413,800	5,385,960
職員給与費(c)(円)	343,250	335,600	329,600
人役・職員(人)	0.05	0.05	0.05
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	VI 縮小（改善ではなく、他の事業との統合又は縮小すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・老朽化した人孔蓋を舗装補修工事に併せ、交換する。	③取組における課題(Check)	・老朽化した人孔蓋を年次計画を策定して、交換していく必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	・舗装補修工事に併せ、原材料を支給し、3箇所の人孔蓋を交換した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	・関係機関と連携し、舗装補修工事に併せ、老朽化した人孔蓋の交換を推進していく。